

愛を込めて奉仕するための刺激的なコラボレーション



ツーチーメディカルファンデーションPH・従う

6分で読めます・2024年2月22日



Listen



Share

2024年2月20日から21日にかけて開催されたTzu Chi Eye CenterとRamon Magsaysay Awards Foundation(RMAF)の白内障手術アウトリーチは、合計213件の手術を成功させました。



ラモン・マグサイサイ賞財団と服部正医師による2日間の外科的アウトリーチは、200人以上の患者に奉仕しました。

T 「See Love Clearly! A February Surgical Outreach」は、RMAFのトランスフォーマティブ・リーダーシップ・インスティテュート・プログラムの一環として行われました。日本人眼科医の服部正博士、Tzu Chiの創設者であるダルママスターのチェン・イェン、カトリックのフィリピン人修道女で外科医のシスター・エヴァ・マーモの3人が、アジアでよりインパクトのある作品を生み出すというビジョンを持って集まりました。

「これは、台湾、日本、ベトナム、フィリピンからのボーダレスなコラボレーションと呼ばれるもので、私たちアジア人がアジア人であることを誇りに思うだけでなく、助け合い、協力していることを誇りに思っていることを示すものです」RMAFのスーザン・アフアン会長は次のように述べています。

当初、このアウトリーチは、シスター・エヴァがパラニャケで設立した慈善団体である平和の聖母ミッション財団(FOLPMI)が運営する病院で行われる予定でした。「しかし、資金と人的資源の限界から、アウトリーチは可能だと考えていましたが、それは非常に困難でした」と、FOLPMIのレスター・サンティ博士は述べています。

2023年10月、RMAFとSuntay医師はTzu Chi Eye Centerを訪問し、外科的アウトリーチのための協力の可能性について話し合いました。Tzu Chiの施設がプロジェクトをホストできるようになったことで、当初の計画の多くが変わり、プログラムコーディネーターの負担が軽減されました。

「Tzu Chi Eye Centerは、(アウトリーチ活動の)本当に素晴らしい場所です。なぜなら、皆さんはこれを毎日、そしてもう何年も続けているからです」スーザン大統領は言った。「経験、素晴らしいボランティア、セットアップ、プロセス、手順だけでなく、フォローアップもできるだけでなく、ベストプラクティスを教えたり共有したりすることもできます。」

スンティ博士も同意した。「2022年にこのプログラムを開始して以来、私たちが対応したいと考えていた200人の患者は、患者に使用される施設、機器、レンズがすべてAクラスであるため、ここ(Tzu Chi Eye Center)で最高品質のケアを受けています。薬も用意されています。さらに、身体的、医学的、精神的なケアも用意されているので、本当にホリスティックです。」



外はまだ暗いですが、手術のためにTzu Chi Eye Centerに患者が到着し始めています。



患者は早ければ午前3時にTzu Chi Eye Centerに到着します。



午前4時45分、Tzu Chi Eye Centerのスタッフは患者の手術の準備を始めます。



手術を待っている患者さんは、手術を受けることに緊張よりも興奮しています。



Tzu Chi Eye Centerのボランティア外科医は、2日間のアウトリーチで収容された200人以上の患者の手術を手伝いました。

2日間のアウトリーチでは、12名のTzu Chi Eye Centerのボランティア外科医が服部医師とともに手術を行いました。60歳の日本人眼科医は、ベトナムで20年間無料の眼科治療を提供し、2万人以上の患者の視力を回復させたことで、2022年にラモン・マグサイサイ賞を受賞しました。「黄金の手を持つ男」と呼ばれる服部医師は、毎月数週間ベトナムに滞在し、経済的に余裕のない人々に無料で手術を行い、現地の医師に手術技術を教えていました。残りの数週間、服部博士は慈善活動の資金を稼ぐために日本で働きました。

服部先生が医師になることを決意したのは、がんを患った父親が病院で受けたひどい仕打ちを見てからでした。当時15歳だった彼は、「患者やその家族の気持ちに敏感な医師」になることを誓い、その誓いは今日まで続いています。



Tzu Chi Medical Foundation Philippines会長の Antonio Say 博士は、2022 年の Ramon Magsaysay Award 受賞者である服部正博士を Tzu Chi Eye Center に歓迎します。



2022年ラモン・マグサイサイ賞受賞者の服部正医師は、Tzu Chi Medical Foundation Philippines会長のAntonio Say博士とともに、Tzu Chi Eye Centerで白内障手術を行っています。

日本で外科医として快適な生活を送るのではなく、ベトナムで人道支援活動をしたいという動機を問われた服部医師は、「慈善活動でお金をもらっているわけではありません。その代わり、患者さんの笑顔が私を奮い立たせてくれます。患者さんの喜びを分かち合えるからこそ、もっとやりたいという気持ちになります」と服部先生。

RMAFとTzu Chi Eye Centerと協力して最近の外科的アウトリーチを行った後、服部医師は戻ってきて、より多くのコラボレーションを行いたいと述べました。「Tzu Chi Eye Centerには、非常に優れたシステムを備えた非常に優れた施設があります。また、スタッフ全員が温かい心で患者さんに接しています」と服部先生。「また、患者を見つけるために農村部に行き、ここのツーチャーアイセンターに(手術のために)連れてきたり、患者の視力を救うために医療サービスが行き届いていないコミュニティに機器を運んだりしています。そういう気持ちは僕と同じなので、Tzu Chiさんに協力して、彼らのプロジェクトに参加して、これからもフィリピンに行っていきたいです」

Tzu Chi Medical Foundationのアントニオ・セイ会長は、服部医師の奉仕への献身に触発され、Tzu Chi Eye Centerの門戸は日本の外科医のために常に開かれていると述べました。「服部医師はベトナムでの慈善活動の経験が豊富で、私たちはお互いに助け合い、患者により良いサービスを提供する方法について知識を交換したいと考えています」とSay医師は述べました。



手術が成功した患者に感謝する服部正医師。

Open in app ↗

Sign up

Sign in

Medium 検索



視力が回復した服部正先生に感謝の気持ちを伝える患者さん。服部医師にとって、患者さんの笑顔は、外科医が奉仕に対して得られる最高の報酬です。



視力が回復した後の患者さんの明るい精神が、服部正医師の働きを後押ししています。

一方、Tzu Chiのボランティアは、RMAFとのパートナーシップを非常に特別なものと感じており、特に地元のTzu Chi支部の設立においてこの賞が果たした重要な役割に照らしています。

ダルママスター・チェン・イェンは、1991年にラモン・マグサイサイ賞(コミュニティ・リーダーシップ賞)を受賞しました。アジアの最高峰の賞であり、最高の栄誉とされるこの賞は、国内のフィリピン系中国人コミュニティがマスターの知恵と思いやりのある仕事を認識するための道を開きました。その後、1994年、マスター・チェン・イェンに触発され、地元のフィリピン系中国人ボランティアのグループがTzu Chi Philippine支部を立ち上げました。それ以来、国内の慈善、医学、教育、人文文化、環境保護、およびコミュニティボランティア活動のマスターの使命を遂行することに専念してきました。



愛をはっきりと見よ!Tzu Chi Eye Centerのボランティアと外科医、服部正医師、ラモン・マグサイサイ賞財団とフィリピン外科大学の代表者が一緒に写真を撮りました。

程円大師は「大義のために団結し、調和して協力し、互いに愛し合い、支え合い、協力して前進する」と述べました。一匹の蟻は多くのことを成し遂げられませんが、グループ全体で大きなクッキーを持ち上げることができます。同様に、マグサイサイ賞受賞者の集結は、今日の何百人もの人生を変えるだけでなく、将来、他の多くの前向きな方法で社会に影響を与える可能性のある、より大きなインスピレーションの波紋を開始しました。

...

視力を回復し、生活を鼓舞するミッションに参加しましょう!方法については、[ここをクリックしてください](#)。

タッチアイセンター

ラモン・マグサイサイ・アフル



著者 Tzu Chi Medical Foundation PH

64 フォロワー

命を育む。健康を育む。愛を育む。

Follow



Tzu Chi Medical Foundation PHからのおすすめ